

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月5日

上場会社名 ヤマウホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5284 URL <https://www.yamau-holdings.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 有田 徹也
 問合せ先責任者（役職名） 取締役経営管理部長（氏名） 倉智 清敬（TEL）092（872）3301
 半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無（ ）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	8,718	△1.7	909	△7.9	996	△6.9	617	△6.5
2025年3月期中間期	8,866	6.5	987	25.4	1,070	31.0	660	23.4

（注）包括利益 2026年3月期中間期 671百万円（ 20.2%） 2025年3月期中間期 558百万円（ △7.4%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	101.01	—
2025年3月期中間期	107.88	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	20,639	12,158	58.9
2025年3月期	23,858	12,372	51.8

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 12,148百万円 2025年3月期 12,358百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	119.00	119.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	103.00	103.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,400	△1.9	3,350	△6.0	3,400	△7.5	2,100	△12.8	343.20

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	6,306,000株	2025年3月期	6,306,000株
2026年3月期中間期	247,174株	2025年3月期	187,146株
2026年3月期中間期	6,111,335株	2025年3月期中間期	6,118,878株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期(中間期)連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当中間連結会計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境が改善される中で緩やかな回復が続いております。その一方で、恒常的な物価上昇や、米国の通商政策の動向など依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する業界においては、異常気象や大規模自然災害を背景に「国土強靱化」や「防災・減災」の重要性が一段と高まっております。このような中、国が進める老朽化が進むインフラの維持・更新対策や防災インフラの整備等への対応を目的とした公共投資が底堅く推移する一方で、将来的な国内市場の縮小リスクや資材・原材料・エネルギー価格等の高騰による影響もあり、予断を許さない状況にあります。

このような経営環境下で当社グループでは、2035年を目標とする「ヤマウグループ長期VISION2035」と2024年4月から2027年3月までを計画期間とする「中期経営計画 Plan C³」を策定いたしました。長期ビジョンの実現に向けた1st Stageである「Plan C³」を「変革と創造への挑戦」期と位置付け、将来目線に立ったグループの構造改革と成長戦略に取り組んでおります。

当中間連結会計期間におきましては、インフラ整備工事への対応や、高騰する資材、原材料、物流費等の販売価格への転嫁等に取り組んでまいりました。その結果、当中間連結会計期間の業績は、橋梁、高架道路用伸縮装置の製造・販売・設置工事業において受注が対前年度比減少したものの、コンクリート製品製造・販売事業等の受注が堅調に推移し、売上高は87億18百万円(前中間連結会計期間比1.7%減)、営業利益が9億9百万円(前中間連結会計期間比7.9%減)、親会社株主に帰属する中間純利益が6億17百万円(前中間連結会計期間比6.5%減)となりました。

セグメントの経営成績を示すと次のとおりであります。

(コンクリート製品製造・販売事業)

コンクリート製品製造・販売事業の売上は、土木製品、景観製品、レジンコンクリート製品の販売によるものであります。当中間連結会計期間の業績は、売上高は、53億49百万円(前中間連結会計期間比7.9%増)、セグメント利益(営業利益)は10億36百万円(前中間連結会計期間比24.1%増)となりました。

(水門・堰の製造及び施工並びに保守事業)

水門・堰の製造及び施工並びに保守事業の売上は、水門、除塵機、水管橋等鋼構造物の製造、施工並びにそれらの保守によるものであります。当中間連結会計期間の業績は、売上高は、12億54百万円(前中間連結会計期間比16.3%減)、セグメント損失(営業損失)は、1億6百万円(前中間連結会計期間は営業利益54百万円)となりました。

(地質調査・コンサルタント業務及び土木工事業)

地質調査・コンサルタント業務及び土木工事業の売上は、地質調査及び地すべり対策工事並びに測量・設計業務によるものであります。当中間連結会計期間の業績は、売上高は、8億69百万円(前中間連結会計期間比12.9%増)、セグメント利益(営業利益)は73百万円(前中間連結会計期間比274.9%増)となりました。

(橋梁、高架道路用伸縮装置の製造・販売・設置工事業)

橋梁、高架道路用伸縮装置の製造・販売・設置工事業の売上は、主に橋梁、高架道路用伸縮装置の製造・販売・設置工事によるものであります。当中間連結会計期間の業績は、売上高は8億70百万円(前中間連結会計期間比37.5%減)、のれん償却後のセグメント損失(営業損失)は1億69百万円(前中間連結会計期間は営業利益74百万円)となりました。

(コンクリート構造物の点検・調査、補修工事業)

コンクリート構造物の点検・調査、補修工事業の売上は、橋梁、トンネル等コンクリート構造物の点検・調査業務の請負、補修工事・補強設計業務の請負によるものであります。当中間連結会計期間の業績は、売上高は、2億42百万円(前中間連結会計期間比67.3%増)、セグメント損失(営業損失)は29百万円(前中間連結会計期間は営業損失79百万円)となりました。

(情報機器の販売及び保守事業)

情報機器の販売及び保守事業の売上は、主に金融機関向け業務処理支援機器及びその周辺機器の販売並びにそれらの保守事業によるものであります。当中間連結会計期間の業績は、売上高は1億25百万円(前中間連結会計期間比52.6%増)、セグメント利益(営業利益)は29百万円(前中間連結会計期間比65.1%増)となりました。

(不動産事業)

不動産事業の売上は、主に不動産の賃貸によるものであります。当中間連結会計期間の業績は、売上高は1億38百万円(前中間連結会計期間比0.2%増)、セグメント利益(営業利益)は82百万円(前中間連結会計期間比3.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて18.6%減少し、136億96百万円となりました。これは、主として、現金及び預金が7億67百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が26億52百万円それぞれ減少し、商品及び製品が2億34百万円、仕掛品が1億21百万円、原材料及び貯蔵品が31百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.3%減少し、69億42百万円となりました。これは主として、有形固定資産が47百万円、無形固定資産が80百万円それぞれ減少し、投資その他の資産が35百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて13.5%減少し、206億39百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて26.6%減少し、76億91百万円となりました。これは、主として、支払手形及び買掛金が12億13百万円、電子記録債務が1億24百万円、未払法人税等が4億78百万円、その他流動負債が8億67百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて22.0%減少し、7億88百万円となりました。これは、主として長期借入金1億57百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて26.2%減少し、84億80百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1.7%減少し、121億58百万円となりました。これは、主として利益剰余金で1億10百万円、自己株式で1億52百万円それぞれ減少し、その他有価証券評価差額金が49百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月8日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,484,345	4,717,091
受取手形、売掛金及び契約資産	7,640,462	4,988,284
電子記録債権	1,064,921	924,100
有価証券	30,000	30,000
商品及び製品	1,680,345	1,915,254
仕掛品	268,131	390,052
原材料及び貯蔵品	545,532	576,715
その他	113,700	157,344
貸倒引当金	△4,325	△2,025
流動資産合計	16,823,114	13,696,816
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,352,709	2,352,709
その他(純額)	2,675,530	2,628,146
有形固定資産合計	5,028,240	4,980,855
無形固定資産		
のれん	447,320	402,588
顧客関連資産	292,000	255,500
その他	163,951	164,943
無形固定資産合計	903,271	823,031
投資その他の資産		
投資有価証券	499,110	567,613
その他	724,023	690,516
貸倒引当金	△119,749	△119,534
投資その他の資産合計	1,103,384	1,138,595
固定資産合計	7,034,896	6,942,483
資産合計	23,858,011	20,639,299
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,734,709	1,520,885
電子記録債務	1,138,013	1,013,184
短期借入金	3,104,400	3,007,261
未払法人税等	896,072	417,978
賞与引当金	363,672	363,687
その他	2,236,751	1,368,845
流動負債合計	10,473,619	7,691,842
固定負債		
長期借入金	313,600	156,400
退職給付に係る負債	170,079	170,217
その他	528,046	462,376
固定負債合計	1,011,725	788,994
負債合計	11,485,345	8,480,836

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,000	800,000
資本剰余金	802,614	802,614
利益剰余金	10,568,720	10,457,859
自己株式	△2,659	△155,635
株主資本合計	12,168,675	11,904,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	254,098	303,566
退職給付に係る調整累計額	△64,292	△60,350
その他の包括利益累計額合計	189,805	243,215
非支配株主持分	14,184	10,408
純資産合計	12,372,666	12,158,463
負債純資産合計	23,858,011	20,639,299

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	8,866,908	8,718,433
売上原価	5,415,841	5,302,255
売上総利益	3,451,066	3,416,177
販売費及び一般管理費	2,463,526	2,506,560
営業利益	987,540	909,616
営業外収益		
受取利息	396	2,304
受取配当金	11,195	13,531
鉄屑処分収入	14,536	21,535
利用分量配当金	47,647	32,631
貸倒引当金戻入額	1,920	2,514
保険解約返戻金	6,485	4,543
その他	38,000	59,053
営業外収益合計	120,183	136,115
営業外費用		
支払利息	18,741	21,669
固定資産除却損	6,850	21,306
その他	11,961	5,989
営業外費用合計	37,553	48,965
経常利益	1,070,169	996,766
特別利益		
固定資産売却益	14,289	—
特別利益合計	14,289	—
特別損失		
会員権解約損	11,817	—
特別損失合計	11,817	—
税金等調整前中間純利益	1,072,642	996,766
法人税、住民税及び事業税	386,866	417,281
法人税等調整額	12,274	△39,020
法人税等合計	399,140	378,260
中間純利益	673,501	618,506
非支配株主に帰属する中間純利益	13,411	1,223
親会社株主に帰属する中間純利益	660,090	617,283

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	673,501	618,506
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△112,552	49,468
退職給付に係る調整額	△2,018	3,941
その他の包括利益合計	△114,570	53,409
中間包括利益	558,930	671,916
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	545,519	670,692
非支配株主に係る中間包括利益	13,411	1,223

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,072,642	996,766
減価償却費	330,264	345,142
のれん償却額	44,732	44,732
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,920	△2,514
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,858	14
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,956	6,213
受取利息及び受取配当金	△11,592	△15,817
支払利息	18,741	21,669
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△523
固定資産売却損益(△は益)	△14,289	—
固定資産除却損	6,850	21,306
会員権解約損	11,817	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,924,578	2,793,014
棚卸資産の増減額(△は増加)	△643,497	△388,011
未収消費税等の増減額(△は増加)	△4,050	△29,623
その他の流動資産の増減額(△は増加)	30,259	△12,740
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△14,990	5,110
仕入債務の増減額(△は減少)	△893,608	△1,338,652
未払消費税等の増減額(△は減少)	△185,110	△219,893
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△292,706	△494,667
その他の固定負債の増減額(△は減少)	7,370	△5,323
その他	24	—
小計	2,400,328	1,726,201
利息及び配当金の受取額	11,592	15,817
利息の支払額	△23,253	△22,949
法人税等の支払額	△514,810	△889,839
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,873,857	829,230
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△36,505	△25,569
定期預金の払戻による収入	31,200	13,200
有形固定資産の取得による支出	△338,036	△429,558
有形固定資産の売却による収入	117,493	—
無形固定資産の取得による支出	△14,237	△6,514
投資有価証券の売却による収入	—	1,035
投資有価証券の償還による収入	40,000	—
その他	60	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△200,027	△447,407

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△40,000	△97,138
長期借入金の返済による支出	△231,833	△157,200
自己株式の取得による支出	△18	△152,975
リース債務の返済による支出	△24,107	△23,201
配当金の支払額	△524,502	△725,929
非支配株主への配当金の支払額	△28,222	△5,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△848,682	△1,161,446
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	825,147	△779,623
現金及び現金同等物の期首残高	4,801,563	5,238,534
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,626,711	4,458,911

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	コンクリート 製品製造・販 売事業	水門・堰の製 造及び施工並 びに保守事業	地質調査・コ ンサルタント 業務及び土木 工事業	橋梁、高架道 路用伸縮装置 の製造・販 売・設置工事 事業	コンクリート 構造物の点 検・調査、補 修工事業
売上高					
一時点で移転される財	4,953,657	—	—	249,110	—
一定期間にわたり移転 される財	—	1,498,648	770,680	1,142,351	145,019
顧客との契約から生じ る収益	4,953,657	1,498,648	770,680	1,391,461	145,019
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,953,657	1,498,648	770,680	1,391,461	145,019
セグメント間の内部売 上高又は振替高	5,000	—	—	—	—
計	4,958,657	1,498,648	770,680	1,391,461	145,019
セグメント利益又は損 失(△)	835,383	54,601	19,719	74,074	△79,815

(単位:千円)

	情報機器の販 売及び保守事 業	不動産事業	調整額 (注)1	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高				
一時点で移転される財	71,567	—	—	5,274,335
一定期間にわたり移転 される財	—	—	—	3,556,699
顧客との契約から生じ る収益	71,567	—	—	8,831,035
その他の収益	—	35,873	—	35,873
外部顧客への売上高	71,567	35,873	—	8,866,908
セグメント間の内部売 上高又は振替高	10,404	102,000	△117,404	—
計	81,971	137,873	△117,404	8,866,908
セグメント利益又は損 失(△)	18,005	79,755	△14,182	987,540

(注)1.セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2.セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	コンクリート 製品製造・販 売事業	水門・堰の製 造及び施工並 びに保守事業	地質調査・コ ンサルタント 業務及び土木 工事業	橋梁、高架道 路用伸縮装置 の製造・販 売・設置工事 事業	コンクリート 構造物の点 検・調査、補 修工事業
売上高					
一時点で移転される財	5,349,820	—	1,032	283,545	—
一定期間にわたり移転 される財	—	1,244,399	868,836	578,798	242,098
顧客との契約から生じ る収益	5,349,820	1,244,399	869,869	862,344	242,098
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,349,820	1,244,399	869,869	862,344	242,098
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	10,064	—	7,950	480
計	5,349,820	1,254,463	869,869	870,294	242,578
セグメント利益又は損 失(△)	1,036,760	△106,243	73,925	△169,832	△29,019

(単位:千円)

	情報機器の販 売及び保守事 業	不動産事業	調整額 (注)1	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高				
一時点で移転される財	113,817	—	—	5,748,216
一定期間にわたり移転 される財	—	—	—	2,934,132
顧客との契約から生じ る収益	113,817	—	—	8,682,349
その他の収益	—	36,084	—	36,084
外部顧客への売上高	113,817	36,084	—	8,718,433
セグメント間の内部売 上高又は振替高	11,242	102,000	△131,736	—
計	125,059	138,084	△131,736	8,718,433
セグメント利益又は損 失(△)	29,723	82,637	△8,335	909,616

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

該当事項はありません。